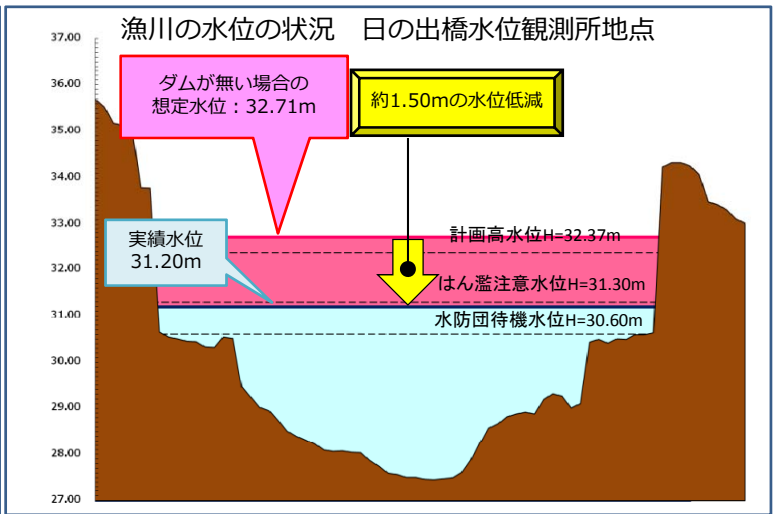
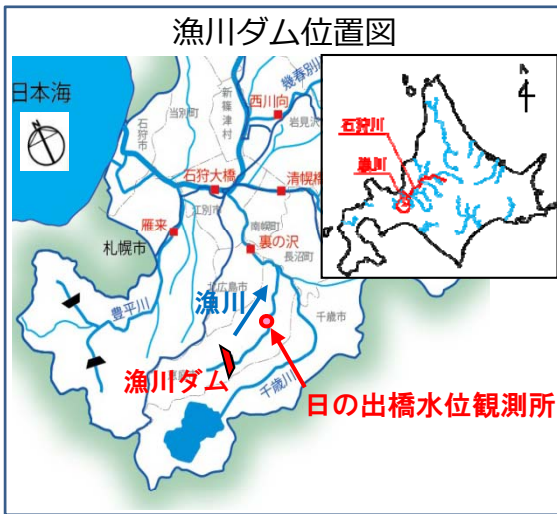


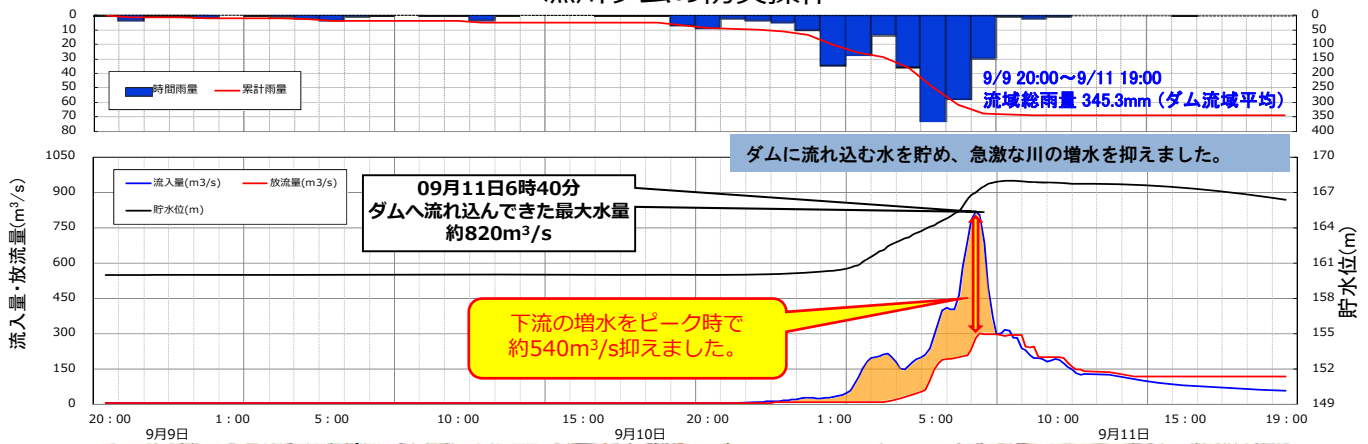
ダム整備が効果を発揮（北海道 漁川ダム）（国管理）

- 平成26年9月11日、低気圧に伴う豪雨により漁川の上流域において大規模な出水が発生（漁川ダムにおいては、洪水量を超える流入量を観測）。
- 漁川ダムの洪水調節等によって下流河川の水位低減を図り、下流の恵庭市（日の出橋観測地点）では、はん濫注意水位以下※¹の水位に抑えることができました。
- 仮にダムが整備されていなければ、計画高水位※²を大きく上回る出水となり、恵庭市へのはん濫により、約9,900戸、約300億円の被害が発生した可能性があります。

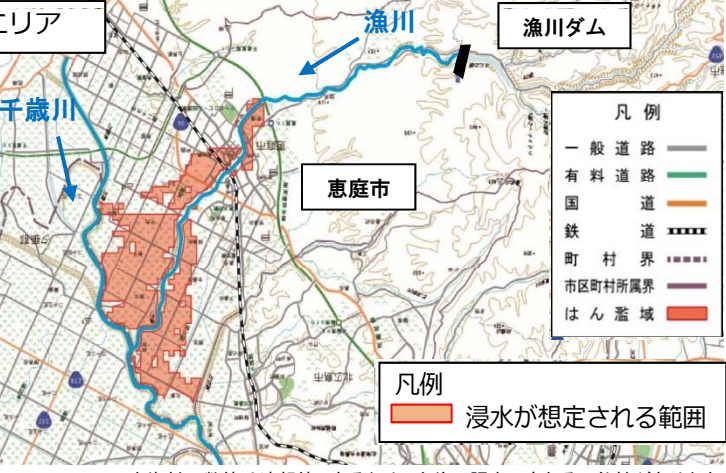
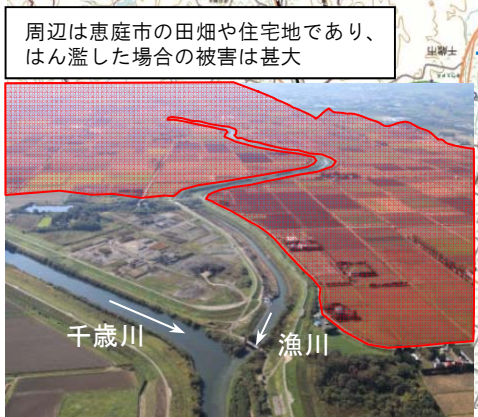
※1. はん濫注意水位：水防団が水防活動を行うための出動を行う目安等となる水位。
 ※2. 計画高水位：堤防の設計・整備などの基準となる水位



漁川ダムの防災操作



ダムが無かった場合にははん濫が想定されるエリア



※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。